

平成 29 年度

「極域・中緯度 SuperDARN 研究集会」 「MTI 研究集会」 「IUGONET 研究集会」 「宇宙空間からの地球超高層大気観測に関する研究会」

合同研究集会

(主催：名古屋大学宇宙地球環境研究所 / 国立極地研究所 / 情報通信研究機構 / 京都大学生存圏研究所 (第 351/352 回生存圏シンポジウム))

開催日：平成 29 年 9 月 11 - 15 日  
場所：東京都小金井市貫井北町 4-2-1  
情報通信研究機構 小金井本部  
本館 4 階 国際会議室

9 月 11 日 (月)

13:30 - 13:40 合同研究集会趣旨説明および連絡事項  
横山 竜宏 (MTI 研究会世話人)

「極域・中緯度 SuperDARN 研究集会」

【座長：堀 智昭 (名古屋大学 ISEE)】

13:40 - 13:55 北海道-陸別第一・第二レーダーの 2016-2017 年度報告

西谷 望 (名古屋大学 ISEE)

13:55 - 14:15 SuperDARN 昭和 SENSU レーダー現況と第 IX 期南極観測計画

行松 彰 (国立極地研究所)

14:15 - 14:30 King Salmon HF レーダー観測の現状

長妻 努 (情報通信研究機構)

14:30 - 14:50 Storm/Substorm 時の対流/過遮蔽電場による中低緯度電離圏擾乱

菊池 崇 (名古屋大学 ISEE)

【座長：長妻 努 (情報通信研究機構)】

15:10 - 15:30 昼側沿磁力線電流系再考

渡辺 正和 (九州大学)

15:30 - 15:50 北向き IMF 条件下での磁気圏電離圏対流駆動機構

藤田 茂 (気象大学校)

15:50 - 16:10 Development of convection to the substorm

田中 高史 (九州大学)

16:10 - 16:30 大型短波レーダーや地上磁場で観測されるSudden Commencementに伴う電離圏対流変動  
飯田 剛平 (名古屋大学ISEE)

## 9月12日(火)

【座長：西谷 望 (名古屋大学ISEE)】

09:30 - 09:50 Statistical study of Ionospheric Conductivity (SZA) Dependence of the SAPS using  
the SuperDARN Hokkaido East HF Radar

張 玉テイ (名古屋大学ISEE)

09:50 - 10:10 オメガバンドオーロラのドリフト速度とSuperDARNで観測した電離圏流速との同時観測

佐藤 夏雄 (国立極地研究所)

10:10 - 10:30 Evolution of ionospheric convection and ULFs during the 27 March 2017  
storm:ERG-SuperDARN campaign

堀 智昭 (名古屋大学ISEE)

【座長：行松 彰 (国立極地研究所)】

10:50 - 11:10 ERG-SDによって観測されたPi2地磁気脈動の初期解析の報告

寺本 万里子 (名古屋大学ISEE)

11:10 - 11:30 2017年4月4日のERG-SuperDARNキャンペーン期間における大規模電離圏対流変動

西谷 望 (名古屋大学ISEE)

11:30 - 11:50 SuperDARN Japan webサイトの紹介

門脇 優香 (国立極地研究所)

11:50 - 12:00 SuperDARN-ERG共同観測の現状 (コメント)

堀 智昭 (名古屋大学ISEE)

## 「中間圏・熱圏・電離圏 (MTI) 研究集会」

MTI Grand Challenge セッション1

### 「磁気圏・プラズマ圏から見る MTI との結合」

【座長：新堀 淳樹 (名古屋大学ISEE)】

13:30-14:15 あらせ衛星による観測

三好 由純 (名古屋大学ISEE)

14:15-15:00 プラズマ圏とMTIの結合～地磁気観測をベースとして～

尾花 由紀 (大阪電気通信大学)

## MTI関連プロジェクト1

### 「MTIハンドブックの今後」

【座長：横山 竜宏（情報通信研究機構）】

15:30-15:50 MTIハンドブックの概要と現在までの経緯

細川 敬祐（電気通信大学）

15:50-16:30 MTIハンドブックのアンケート結果と今後の方針について

横山 竜宏（情報通信研究機構）

9 月 13 日（水）

## MTI関連プロジェクト2

【座長：横山 竜宏（情報通信研究機構）】

09:30 - 10:00 JpGU「大気圏・電離圏」「MTI Coupling」セッション提案検討

大塚 雄一（名古屋大学ISEE）

10:00 - 10:40 IUGONETツールの実践的活用法

田中 良昌（国立極地研究所）

## 「宇宙空間からの地球超高層大気観測に関する研究会」

【座長：齊藤 昭則（京都大学）】

11:00 - 11:15 人工衛星によるMTI領域の観測計画

齊藤 昭則（京都大学）

11:15 - 11:30 磁気圏・電離圏・熱圏結合機構の実証的研究に向けた編隊飛行による探査衛星計画

平原 聖文（名古屋大学ISEE）、齋藤 義文、小嶋 浩嗣

11:30 - 11:45 SMILES-2衛星観測計画

塩谷 雅人（京都大学RISH）

11:45 - 12:00 SMILES-2観測装置の検討状況

落合 啓（情報通信研究機構）

13:30 - 15:30 議論：SMILES-2衛星観測提案に向けて

15:30 - 17:30 合同ポスターセッション

（ポスターボードサイズ 横90cm × 縦210cm）

- P01 全球TECデータに見られる磁気嵐時の電離圏・プラズマ圏の時間・空間変動  
新堀淳樹、大塚雄一、津川卓也、西岡未知
- P02 Temporal and spatial variations of storm-time ionospheric irregularities on the basis of GPS total electron content data analysis  
杉山俊樹、大塚雄一、新堀淳樹、津川卓也、西岡未知
- P03 LF帯標準電波を用いた東北地方太平洋沖地震後のD領域電離圏変動  
大矢 浩代, 土屋 史紀, 品川 裕之, 野崎 憲朗, 塩川 和夫
- P04 GAIA結果を用いた電離圏嵐指数評価  
埜 千尋、品川裕之、西岡未知、陣英克、三好勉信、藤原均、津川卓也、石井守
- P05 HFドップラーで観測された夜間 F 層高度変動の GAIA モデルによる検討  
坂井純、細川敬祐、富澤一郎
- P06 イウレカでの光学観測による極冠パッチの統計的性質  
永田 倫太郎、細川 敬祐、塩川 和夫、大塚 雄一
- P07 南極域大気光イメージャを用いた南極域極冠パッチの統計的性質に関する研究  
香川亜希子、細川敬祐、小川泰信、門倉昭、海老原祐輔
- P08 磁気北極付近における大気光観測を用いた磁気嵐発生に伴う極冠パッチの性質  
岡村紀、細川敬祐、塩川和夫、大塚雄一
- P09 ポーラーパッチ後縁に出現する指状構造のスケールの統計解析  
高橋透, 平木康隆, 細川敬祐, 小川泰信, 坂井純, 宮岡宏
- P10 AGW/TID events over Europe during solar eclipse of 20 March 2015  
S. Panasenko, Y. Otsuka, T. Tsugawa and M. Nishioka
- P11 新型イオノゾンデVIPIR2による電離圏の初期観測結果  
西岡未知、加藤久雄、山本真之、川村誠治、津川卓也、石井守
- P12 GPS電波掩蔽観測を用いた地震に伴う高度方向の電離圏擾乱の解析  
井上雄太、中田裕之、大矢浩代、鷹野敏明
- P13 GPS-TECとHFドップラーを用いた火山噴火に伴う電離圏変動の解析  
長南光倫、中田裕之、大矢浩代、鷹野敏明、富澤一郎、津川卓也、西岡未知
- P14 HFドップラーと微気圧計を用いた台風に伴う電離圏擾乱の解析  
益子竜一、中田裕之、大矢浩代、鷹野敏明、富澤一郎
- P15 多地点からの大気光観測によるプラズマバブルの広域撮像  
高見晃平、細川敬祐、齋藤享、小川泰信、Koichi Chen、穂積裕太、齋藤昭則、塩川和夫、大塚雄一
- P16 Interferometry Expansion of a Forward Scatter Meteor Observation Radar System at KUT  
Mario Batubara, Masa-yuki Yamamoto, Waleed Madkour and Timbul Manik
- P17 GPS-地上受信機網により観測された中規模伝搬性電離圏擾乱の成長特性の研究  
池田孝文、齋藤昭則、津川卓也
- P18 国際宇宙ステーションからの観測による大気光の大規模構造の推定  
北村 佑輔、齋藤 昭則、坂野井 健、大塚 雄一、山崎 敦、穂積 裕太

P19 ISS-IMAP/VISIで見た中間圏ボアの広域構造と全球発生特性

穂積裕太、齊藤昭則、坂野井健、山崎敦

P20 フィールドミルによる大気電場と95GHz雲レーダFALCON-Iで観測された雲との比較

中森広太、鈴木康樹、大矢浩代、鷹野敏明、河村洋平、中田裕之、山下幸三

18:00 - 20:00 合同懇親会 (NICT研究交流センター)

9月14日(木)

9:30 - 12:00 IUGONET講習会

### 「中間圏・熱圏・電離圏 (MTI) 研究集会」

MTI Grand Challenge セッション2

#### 「成層圏・対流圏から見る MTI との結合」

【座長：富川 喜弘 (国立極地研究所)】

13:30 - 14:10 衛星データに見られる成層圏突然昇温と成層圏・中間圏・下部熱圏の大気循環

岩尾航希(熊本高等専門学校)

14:10 - 14:50 地上ミリ波大気微量分子観測による中間圏・成層圏の結合現象の研究

長浜智生(名古屋大学 ISEE)

15:10 - 15:50 熱帯中層大気半年振動 (SAO) のシミュレーションの改善に向けて

柴田清孝(高知工科大学)

15:50 - 16:30 中層大気版全球非静力学モデルNICAMが再現した基本場・大気重力波

小玉知央(海洋研究開発機構)

9月15日(金)

### 「IUGONET 研究集会」

【座長：田中 良昌 (国立極地研究所)】

10:00-10:05 趣旨説明

田中 良昌 (国立極地研究所)

10:05-10:25 Dst 指数の上下限值とその太陽風動圧依存性

荒木 徹 (京都大学)

10:25-10:45 地磁気日変化の季節・太陽活動依存性について

新堀 淳樹 (名古屋大学)

10:45-11:05 観測データとしての歴史文献記録からみる太陽活動

玉澤 春史 (京都大学)

11:25-11:45 宇宙天気長期変動とスペースデブリ環境変動

阿部 修司 (九州大学)

【座長：梅村 宜生 (名古屋大学)】

11:45-12:05 極域データの共有・引用・出版に関する最近の話題

金尾 政紀 (極地研)

13:00-13:20 次世代リポジトリシステムと研究データ管理における図書館の役割

山地 一禎 (国立情報学研究所)

13:20-13:40 オープンサイエンスをめざした研究データ整備・共有の国内外動向

村山 泰啓 (情報通信研究機構)

13:40-14:00 WDS Asia-Oceania Conference 2017 について

渡邊 堯 (WDS-IPO)

14:00-14:20 研究データマネジメントの一実践例と現状の課題

能勢 正仁 (京都大学)

【座長：阿部 修司 (九州大学)】

14:40-15:00 GPS-TEC データベースとその科学利用

津川 卓也 (情報通信研究機構)

15:00-15:20 高専での科学教育における IUGONET の活用について

才田 聡子 (北九州高等専門学校)

15:20-15:40 第2期 IUGONET プロジェクトの進展

田中 良昌 (国立極地研究所)

15:40-16:00 IUGONET システム報告

梅村 宜生 (名古屋大学)